

古賀市男女共同参画輝きKogaネットたより ぴか☆イチ

Vol.04

2018年10月発行

第2回男女共同参画セミナーを開催しました！

講演「メディアを読み解く」

講師：阪井俊文さん（社会学者、福岡ジェンダー研究所嘱託研究員、北九州市立大学非常勤講師）

テレビや雑誌などのメディアが人々のジェンダー意識や性に関する知識にどのような影響を及ぼしているかを研究し、多くの自治体や大学などでご活躍している阪井俊文さんに、ご講演いただきました。

■ メディアとは

「情報」を得るための主たる媒体。

■ メディアリテラシーとは

メディアによってもたらされる情報を批判的に読み解き、情報の信憑性を的確に判断し、有効に利用するための能力。（+メディアの特性を理解し、適切に発信する能力）

■ メディアリテラシー向上のために

問題のある表現（男女共同参画に逆行するような言説）にどのようなものがあるかを知り、そこに存在している社会構造を理解する必要がある。



【講師：阪井俊文さん】

本日のセミナー、「メディアを読み解く“メディアリテラシー”向上のポイント」は現代社会に生きる私たちにとって、必聴必見の講演でした。

レストランやホテルを探すときに、インターネットの口コミ情報は判断材料のひとつになります。でも実際に行ってみてがっかりしたり、逆に何も知らずに行っても素敵なお店に出会えたりもします。「メディアの殆どは、商業的意味に基づいた様式で作られる。」と阪井先生は示されました。消費者である私たちはその事を念頭に置かなくてはなりません。

また、ドラえもんやサザエさんから私たちは知恵やユーモア、そしてひと時の安らぎをもらいましたが、知らないうちに母親像、父親像、理想的な家庭像を植え付けられても来ました。この多様な現代社会では、みんな違ってみんないい、うちはうち、よそはよそ、とますます自覚して、情報に流されないようにしなければなりません。

セミナーをとおして、私たち自身のメディアリテラシーを高くし、自分の目や耳で本質を見聞きする姿勢を持たなければならないと思いました。自分の為、そしてこれからの世代の為に。

【古賀市男女共同参画輝きKogaネット江口真由美】

【参加者感想】



無意識にメディアの影響を受けていることを知ることができた。



わかりやすく楽しく聞かせてもらえました。同感することも多く、メディアに踊らされている自分に改めて気づきました。これからはアンテナを高くし、メディアリテラシーを意識して考えて行動しよう！と思いました。

